

## 長居公園における標識調査 ～ヒヨドリを中心に～

和田 岳(大阪市立自然史博物館)

1994年から、長居公園(大阪市東住吉区)で、標識調査を行っている。1994年から1998年までは年間を通じて調査していたが、1999年以降は主に年末にのみ調査をしている。おもにヒヨドリをターゲットにしているので、使用しているのは61メッシュ(CTX)のかすみ網である。

ヒヨドリは、秋から冬は主として果実を食べているが、果実が不作の年には、1月頃に果実を食べ尽くしてしまうことがある。そうした年には、ヒヨドリの体重が顕著に増加し、通常60～80gだったのが、80gを越え、100gを越えることもある。

長居公園で標識したヒヨドリが、他の場所で再捕獲されたケースは3例ある。いずれも長居公園の果実が無くなってから、和歌山県で捕殺されたものだった。